

大学生活は、多くの通過点(PASSAGE)を乗り越えながら、人生における重要な一節(PASSAGE)となる。
PASSAGEは、経営学部生のさまざまな学習経験を支え、教員・学生の相互対話を促す窓という意味を込めたものです。

2015
Vol.24

PASSAGES



キャリアを考える、実践する

経営学部CSP

海外に学ぶ、海外で学ぶ

海外総合実習

ゼミナビ

“うちのゼミはどんなゼミ?”

田村ゼミ / 春日ゼミ / 高木ゼミ / 大平ゼミ

下村ゼミ / 佐藤(淳)ゼミ / 上田ゼミ



豊平シンクタンク

教員の研究紹介

【在外研修編】

石井晴子先生

『ロンドン大学在外研修記』



<http://ba.hgu.jp>

ゼミナビ



大学で開講されるゼミナール(演習)とは、通常の講義の人数よりもはるかに少ない人数の学生が、特定の教員の下で特定の分野を専門的により深く勉強していく科目です。

経営学部では、経営学のみならず、会計学、心理学、情報、マーケティング、金融などの様々な分野のゼミナールが開講されています。



■2年から4年まで、同一の演習で同一の分野を学習

2年次

3年次

4年次

演習Ⅰ

演習Ⅱ

特別演習
卒業研究

*演習によっては、特別演習、卒業研究は開講されない場合あり



ゼミナビでは、23号～26号の4号連続で、ゼミナール担当教員とゼミ所属学生が、「うちのゼミはどんなゼミなのか?」を紹介していきます。24号では、田村ゼミ、春日ゼミ、高木ゼミ、大平ゼミ、佐藤(淳)ゼミ、下村ゼミ、上田ゼミを紹介します。

■2部の演習について

開講数や開講形態は異なりますが、2部でも演習は開講されています。ゼミナビで紹介されるのは1部の演習ですが、2部演習の内容も、1部に準じた内容となっていますので、参考にしてください。



学部HPで
全てのゼミを紹介しています

<http://ba.hgu.jp>



平成28年度の演習選択スケジュールについては、新年度のガイダンスで案内予定です。



担当教員によるゼミ紹介

田村ゼミは心理学系のゼミです。この数年は、私たちが意識することができない心的過程に焦点を当て、文献の講読と実験を行っています。

無意識的な心は、行動を通じてしか知ることができません。したがって、様々な研究が、どのような問題関心から生まれたか、仮説を検証するためにどのような工夫がなされたか、研究結果からどのような結論を導き出せるか、などを読み取る作業を、みんなでするわけです。そこから、自分たちで確かめたい問題を見つけ、実際に実験や調査を計画・実施します。

この数年は、記憶のエラー、単純提示効果などについて実験を行いました。同時に、楽しい企画、様々な講義についての情報交換、就職活動への準備などもします。



ゼミ生によるゼミ紹介



阿部 知捺
[特別演習]
出身高校: 釧路湖陵
入学年度: 2011年度

私たちは「心的情報処理」をテーマとし、心理学について学んでいるゼミです。本を読み、パワーポイントにまとめて発表した後、意見を交換したり、映像を通して理解を深めたりします。また、「記憶の錯覚」と呼ばれる、確信度の高い記憶も時間の経過と共に塗り替えられてしまう現象について、自分達で質問内容を考え、実験を行いました。



ゼミ内は仲が良く、いつも和やかな雰囲気で行われます。私はこのゼミの活動を通して、普段の生活の中で経験される当たり前前に感じていることも実は様々な現象に支えられているのだと実感しました。



報告担当者が発表しているところ。1つの文献を、みんなで分担し、内容の要約、追加の説明、討論すべきポイントなどを提案します。このような文献講読の他に、特別な時間をもって、お互いに興味深い話題交換をする企画もあります。



田村 卓哉 教授
担当科目: 心的情報処理論



上のロゴ(原図)のあるタイプの色覚少数者が見た場合のシミュレーション(下図)
フリーのPluginソフト "Vischeck" (R.Dougherty & A. Wade, 2006)による。

田村ゼミ

ゼミコンパ 年2回+α
ゼミ合宿 提案があればやる

演習Ⅰ: 19名 演習Ⅱ: 17名 特別演習: 18名

担当教員によるゼミ紹介

テーマは「良い企業とは？優れたマネジメントとは？」です。ゼミⅠは自動車業界について研究し、ゼミⅡは全体でテーマを設定するとともに、各自でテーマを設定してゼミ論文にまとめあげ、2年間の総仕上げとなります。例年、夏休みに合宿を行っています。それもふくめて基本的なゼミ運営はゼミ生に任せています。「自ら考えて、自ら決めて、自ら行動する」という経営学の真髄を、身をもって獲得してもらいたからです。それと、一人ひとりがゼミという場で、一生の「仲間」をつくってもらいたいとも思っています。「やる時はやる」をモットーに、ゼミ生が個性＝自分だけの強みを発揮して、実社会で活躍できる人間となることをめざしています。



ゼミ生によるゼミ紹介



三浦 亮祐
 [演習Ⅱ]
 出身高校：札幌日本大学
 入学年度：2012年度

春日賢先生のもと、自主性を重視した演習を行っています。自分たちで問題を見つけ、グループに分かれてプレゼンテーションを行い、意見を交換し合っています。普段から人前でプレゼンテーションを行うことにより、コミュニケーション能力を養っています。また、愛知県や福岡県など道外へのゼミ合宿、各学部またはゼミとゼミⅡ合同のゼミコンパなども行っています。経営学部のゼミ対抗のソフトボール大会も、我々春日ゼミが主催しています。各学年が自分たちで考え行動しているので、とても味のある、内容のあるものになっています。



春日ゼミ

ゼミコンパ あり
 ゼミ合宿 あり

演習Ⅰ：18名 演習Ⅱ：14名 特別演習：10名



春日 賢 教授
 担当科目：経営学説史



ゼミ合宿で、福岡のトヨタ自動車工場を見学しました(表紙写真)。グループに分かれて、行く前にテーマを決めて問題の所在を探り、帰ってから研究成果をプレゼンとレポートにまとめます。



担当教員によるゼミ紹介

「企業人は会計を知ることで大人になる」大手薬品メーカー部長が業界の会合で発した言葉です。会計は企業共通の言語であり、企業全体を理解するために不可欠な知識なのです。また、どれだけ組織に貢献しているのかを意識して働くことができれば、同じ仕事でもやりがいをもって臨める仕事になるはずです。



ゼミでは企業人としての基礎知識を修得することを目的としています。企業全体を見渡す能力を養うとともに、会計を通じて企業間比較を行うことで、他の企業よりの点で優位であるのか、どの点で劣っているのかを知り、会計の立場から改善点を探求する能力を身につけます。教室ではグループワークが中心で、グループの知恵を絞って調査対象に挑んでいきます。



ゼミ生によるゼミ紹介



嶋田 侑平
 [演習Ⅱ] ゼミ長
 出身高校：滝川西
 入学年度：2012年度

ゼミの雰囲気は非常に良いです。簿記会計の基礎から応用まで楽しく学ぶことができます。高木先生の穏やかな雰囲気のおかげもあり、リラックスした状態で勉強をすることができるというのがこのゼミのポイントであると思います。学生の自主性がすごく優先されており、みんな積極的に授業に取り組んでいます。

演習Ⅱでは長期のグループ活動を行っています。グループで企業の分析を行っています。2学期からは一人一つ企業の分析を行うとのことなので大変楽しみです。ゼミ生の親睦を深めるために、ゼミの時間を使いカフェに足を運んだり、全員でゼミコンをしたらと楽しみもたくさんあります。このようにやるときはやる、遊ぶときは遊ぶというメリハリがあるゼミだと思うので、楽しく簿記会計を学びたい人にオススメです。



演習Ⅰ(2年生)ではグループに分かれて、簿記会計の知識をゲーム形式で学習します。



高木 裕之 教授
 担当科目：財務会計



演習Ⅱ(3年生)では財務の視点から企業分析を行い、改善・提案をグループワークで検討します

ゼミコンパ 年2回、多い年もあります
 ゼミ合宿 未定

高木ゼミ

演習Ⅰ：11名 演習Ⅱ：13名 特別演習：10名

◆ 担当教員によるゼミ紹介 ◆

大平ゼミでは、経営学概論同様、問題解決力を身につけることを目的に、皆で本気になれるゼミ作りを目指しています。活動の一つは、札幌と夏合宿で訪問する帯広、旭川、函館の中心的企業の研究、質問、訪問、提案、コラボという一連の企画体験学習です。

もう一つは、経済産業省のキャンパスベンチャーグランプリ(CVG)への個人参加です。先輩たちの努力を学び、自分のビジネスプランや事業計画の作成方法を学び、経営学の活かし方を体験的に学びます。合宿、コンパ、CVG参加は最低の必修です。また、ゼミ運営はゼミ長を中心にゼミ生で運営して行くことを伝統にしています。興味のある人はぜひおいでください。



合宿2013十勝ヒルズ訪問



ラッキー・ピエロ王副社長と

◆ ゼミ生によるゼミ紹介 ◆



六本木 椋

[演習Ⅰ] ゼミ長
出身高校: 苫小牧東
入学年度: 2013年度

大平ゼミに関して紹介することになりました、大平ゼミ特ゼミ長の六本木と申します。まず、大平ゼミの取り組んでいる取り組みに関して紹介します。一番大きな活動としては自分でビジネスプランを1から考え提案するCVGの取り組みです(CVGに関して詳しくはWebで)CVGへの取り組みは一人ひとりが経営者視点を持ち真剣に取り組んでいます。大平先生は講義では少し厳しい印象ですがゼミではとても面白く愉快でお茶目な先生です。ゼミも自由に活動していますし、一人ひとり自分の取り組みたいことに取り組む自由で楽しいゼミです★



高砂浩造

大平ゼミ

ゼミコンパ あり
ゼミ合宿 あり

演習Ⅰ: 10名 演習Ⅱ: 13名 特別演習: 13名



大平 義隆 教授
担当科目: 経営学概論



ソمسサドル企業訪問

ファーム富田訪問



CMや動画制作を行ったりと、様々な体験を通じて多くを学びます。



下村 直樹 教授

担当科目: マーケティング・コミュニケーション



合宿では遊ぶだけではなく、勉強もしています。

ゼミコンパ あり
ゼミ合宿 あり

下村ゼミ

演習Ⅰ: 8名 演習Ⅱ: 4名 特別演習: 4名

◆ 担当教員によるゼミ紹介 ◆

このゼミでは広告やPRなど、マーケティング・コミュニケーションと呼ばれる分野を勉強します。2年生では前半はマーケティング、後半は広告・PR・販売促進などに関して教科書を使って基礎的な勉強します。そこから応用として、3年生では広告に関するグループ研究と北海道庁の取り組みをアピールする動画の制作、4年生では映像分析とCM動画の制作を行います(2部ゼミがある場合は、2・3年生の内容を1年間に詰め込んで行います)。

他のゼミと比べて、課題やグループ研究など講義時間外で取り組むことも多く、講義・ゼミ行事の出欠や課題への取り組みに関しても結構厳しくしていますが、きちんと3年間通じて、学んでいくことで、得られるものも多いです。なお、このゼミを履修する学生さんにはマーケティング・コミュニケーションⅠ・Ⅱの受講を義務づけています。



◆ ゼミ生によるゼミ紹介 ◆



富永 麻由美

[演習Ⅱ]
出身高校: 札幌旭丘
入学年度: 2012年度

下村ゼミでは、2年生でマーケティングと広告について学び、3年生では日経ビジネスの購読や、興味関心のあるテーマでグループ研究をします。また、北海道庁とコラボして動画制作も行っています。学んだことを実践できる場があり、楽しく勉強できます。

楽しいイベントとして3学年合同のゼミコンパや、ゼミ合宿があります。昨年夏のゼミ合宿はラフティング、BBQ、花火などをしました。ですが、遊びだけでなく、きちんと勉強もします…。

最後に、このゼミは授業の時間以外にも課題や制作などやるのがたくさんあります。大変ではありますが、それを乗り越えていけばかなり力がつくと思います。また、ゼミ仲間といる時間が長い分、仲の良いゼミだと思います。



担当教員によるゼミ紹介

私の専門分野は「学習心理学」です。仕事や消費生活などの日常場面において問題解決を行う際に働く、人間の思考のプロセスを研究しています。ゼミでは主に、「経済現象に対する不適切な認識」を取り上げて、そのような認識の様相や形成過程を分析し、適切な知識を獲得・適用させるにはどのような働きかけが有効かを検討しています。

まずゼミIでは、関係する文献や論文を各自が発表して、問題点の討論を通して必要な知識を蓄えます。次にゼミIIでは、それを踏まえて各自が研究テーマを設定し、心理学的な調査・実験を実施して、分析結果をゼミ論文としてまとめています。人間の思考のあり様に関心のある方に向いているゼミです。



ゼミ生によるゼミ紹介



岩本 駿

[演習II]
出身高校: 稚内
入学年度: 2012年度

このゼミではそれぞれが選んだ心理学のテーマについて研究し、それについて授業内で積極的に意見交換や質問をしています。ゼミ内で発表やディスカッションをする機会がたくさんあるので、プレゼン能力も身に付けることができます。心理学の内容自体もおもしろく、多様な研究テーマがあるので、自分に合ったテーマを研究することができます。

佐藤淳先生はとてもフレンドリーでいつもニコニコしています。わからないことがあれば親身になって相談に乗ってくれます。そんな淳先生がみんな大好きです。

私たちはゼミコンや合宿を通じて親睦を深め、楽しいゼミ生活を過ごしています。



佐藤(淳)ゼミ

ゼミコンバ あり
ゼミ合宿 あり

演習I: 2014年度開講せず 演習II: 16名 特別演習: 開講せず



佐藤 淳 教授
担当科目: 学習心理学



ゼミIIにおいて、自分が計画した調査・実験の内容を説明し、仲間から意見をもらっている様子です。



担当教員によるゼミ紹介

“ダイエットを成功させるには?”といった日常生活における意思決定から“生産・輸送・販売”といった経営上の意思決定まで、私たちは多くの場面で意思決定を行う必要があります。私のゼミでは、こうした意思決定を経験や勘ではなく科学的に行う方法について学習しています。

私のゼミの目標は、“こうした意思決定においてコンピュータを活用できそうだと感知する能力を高めること”です(具体的には、「ソルバー」等のExcel機能)。私のゼミでは、「身近な存在になったコンピュータを大いに活用することで、これから直面するであろう意思決定問題に対する“答え”を科学的に求められるようになること」を目指しています。



ゼミ生によるゼミ紹介



早坂 信哉

[演習II]
出身高校: 栗山
入学年度: 2012年度

上田ゼミでは、Excelの効果的な使い方について学ぶことが出来ます。具体的には、「Excel関数」や「Excelソルバー」による生産計画・輸送計画・人員配置などを学習しています。これにより、社会に出てからもちょっとした問題に対してExcelを活用できるようになります。

上田ゼミでは、「新聞記事の読み方」などの就職活動に向けた学習や、自分で決めたテーマに関してプレゼンする機会もあります。そのため、人前で話すことにも慣れてきます。飲み会などでは、先輩や後輩と集まることもあり、授業・就職活動に関して情報交換をしています。



演習は、座学ではなく“PCを使用した実習”がメインです。課題に応じて、ゼミ生間で相談しながら作業が進められます。



上田 雅幸 准教授
担当科目: 情報処理



ゼミコンバ あり
ゼミ合宿 なし

上田ゼミ

演習I: 7名 演習II: 2名 特別演習: 4名

石井 晴子先生 『ロンドン大学在外研修記』

豊平
シンクタンク

経営学部では、石井晴子先生(担当:総合実践英語)が研究目的で、平成25年9月から平成26年9月までの間、英国ロンドン大学で在外研修をしておりました。



外研修期間中に終えたところです。残りの4年間は時々ロンドンに「通学」しながら、それ以外は指導官とのスカイプ・ディスカッションで乗り切り、博士論文を書き上げる予定です。

—— グローバル教育のこと

私の研究テーマは大きく捉えて「グローバル教育(Global Education)」なのですが、最近、世間では何にでも「グローバル」をつける風潮があり(これは日本だけではないのですが)、「グローバル」をきちんと定義して教育を行っている場合が少ない、と研究をしていて感じます。歴史的には、グローバル教育とは、開発教育と環境教育などを統合した「持続可能な開発のための教育(ESD)」や、「人権教育」、などを指し、そのうちの市民教育(Citizenship education)は英国の小学校では基礎科目になっています。国、ひいては世界は、自分たちが作る社会で出来ているという意識のもと、移民の子供たちも含め、よりよい社会を作るための個人個人の意識向上教育を行うのです。

しかし、もともと英国のグローバル教育は、旧植民地に関する南北問題や、貧困問題の解決に向けた教育から発しているの、英国では最近では名前をグローバル学習(Global Learning)として、植民地問題から社会の多様性の理解の方に中心を置くようになりました。また、グローバル学習を科目として教える、小、中学校の先生たちのための研修はIoEでも数多く行われていました。



—— 私の研究

私も多様性に主眼を置く、という意味でのグローバル教育(学習)の研究を行っています。最初は英語

を教えていて「なぜ英語を学ぶの?」という疑問から米国留学し、修士号取得のための勉強をしているときに「異文化コミュニケーション」に出会い、それが「何のための異文化コミュニケーションなの?」という疑問に発展し、今回の研修で行き着いた研究テーマが「多様性を持った人々の力を最大限に行かず社会構築のためのコミュニケーション能力の開発」となったのです。これはどの国の職場環境にも必要なことです。

私にとって多様性とは、人種、国籍、宗教、障がいの有無、など、すべてを含む個人の多様性が単位で、1. 世界の多様性を理解するには多様な個人を尊重すること、2. 文化アイデンティティは個人のものの方を大きく左右するもの、そして、3. 英語(外国語)は多様な個人を理解するためのコミュニケーションの重要なツールである、ということが基本となる「グローバル教育」なのです。それを、国が主体となって行う国際交流プログラムや、大学の留学プログラムなどにどのように応用できるか、ということに興味があります。



—— 多様性をうけいれること

これからの地球では、個人の多様な特性をどれだけ社会、グループの強みにできるか、が人生を楽しむ鍵となります。だんだん保守的になっていく国や社会がある一方で、どんな所でも生き生きと暮らしている人たちは、異なった考え方、やり方を柔軟に受け入れてそれを力にしています。若い時に自分の固定概念をぶっ飛ばす冒険をたくさんして、強くてしなやかな心の筋肉をもった人間になる。私が留学をしたのは大人になってからでしたが、学生時代に留学をしていたら、もっと冒険できたかもしれない、そんな気持ちになるロンドン生活でした。

—— 研修先の大学院のこと

2013年9月から1年間、英国ロンドン大学のユニバーシティカレッジロンドン(UCL)の専門職大学院である、「教育研究所」(Institute of Education - IoE)で在外研修をしました。IoEは研究ベースの大学院大学で、研究者と院生しかいません。また、この大学院の位置づけとして、国の教育の方針に助言をする役割があり、院のプログラムも教育行政に関するものから幼児教育まで幅広く存在します。特にグローバル教育に関する研究ではヨーロッパでも屈指で、私はそのグローバル教育の教育学博士課程(5年制)に所属しています。

このプログラムに入るには、教育の分野での実務経験が必要で、クラスメイトはすでに長年、各国の教育関係の仕事をしてきた専門家であり、平均年齢は40歳を超えています。シリアとトルコの国境近くの難民キャンプの子供たちに平和教育をしているトルコ人、「アラブの春」以降めまぐるしく変わる教育方針のかじ取りをしている、エジプト政府の教育コンサルタントの人、インドの障がい者教育のプランニングをする人、ロンドン大学の教育オンラインシステムのコンテンツのマネジメントをしている人、などなど、総勢12名の院生の国籍、バックグラウンドは様々です。

授業中のディスカッションは本当にエキサイティングなものでした。私は1年目のコアプログラムを在

経営学部では、学部生のキャリア形成に関する道筋をより明確に示すために、経営学部CSP(キャリアサポートプログラム)を構築し、1年次から4年次まで、各段階に応じたキャリア形成支援科目を用意しています。

例1 「キャリアデザイン講座」(2年次第2学期)

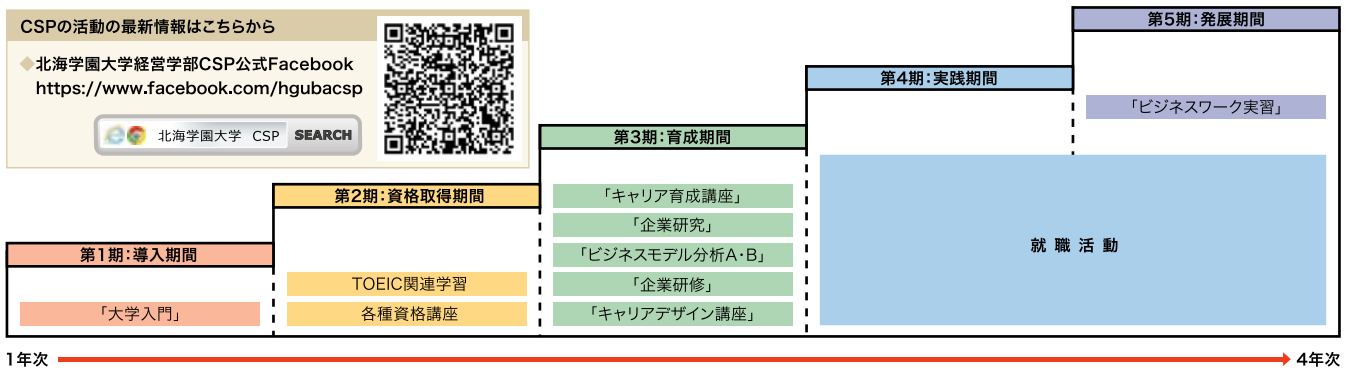
「キャリアデザイン講座」では、学外から多くの専門家をお招きし、大学における学習と大学卒業後における各自のキャリアとの連動性について一定程度の理解を深めた学生に対して、より具体的に(学生同士での実践的グループワークを中心に)、キャリア形成のために何をやっていかなければならないのかを学んでもらいます。



例2 「キャリア育成講座」(3年次第2学期)



「キャリア育成講座」では、企業研修報告会における大人数を前にしたプレゼンテーションや、就職活動を念頭に置いた様々な支援学習(エントリーシート作成・面接対策等)を行ない、各自これまでのCSP関連科目を通して学んできたことを生かしての“実践”に備えます。



ブロック大学での聴講

大学でのESLプログラム、企業訪問、カナダ観光などの他に、大学の授業聴講に取り組みました。私はスポーツマネジメント学科の「スポーツと消費者行動」と「プロスポーツリーグ分析」という2つの授業を受講しました。前者では、「消費者がするスポーツ」を購入する際に何が影響するのかを学び、後者では、経営者目線からプロスポーツリーグ分析をしました。

授業聴講で感じたことは、少人数制が多く、学生が挙手して自分の意見を発表し、主体的に授業に取り組んでいることです。また、海外総合実習の最後に行われたので、これまでの学習成果やどれくらい英語で講義を聞き取れるのかを試すことができました。今までの自分は授業を受動的に学ぶ姿勢が多かったと感じたので、これからはもっと自分から学ぶ姿勢を身に着けたいと思いました。



富樫 梨歩 出身高校:札幌国際情報
所属ゼミ:春日ゼミ
入学年度:2013年度



平成26年度もカナダ ブロック大学にて3週間の日程で行われました。今回は、経営学部向けの特別プログラムとして行われた、カナダ企業訪問(マネジャークラスのスタッフの前で同業種の日本企業について英語でプレゼンテーション)とブロック大学メインキャンパスでの授業聴講(ビジネススクールと応用健康科学部)について、参加者2人が紹介します。



鈴木 花奈子 出身高校:札幌篠路
所属ゼミ:佐藤淳ゼミ
入学年度:2012年度

英語でのプレゼン

Royal Bank of Canadaで、プレゼンテーションをしました。今回、プレゼンをしてわかったことは、外国でも日本でも、よいプレゼンのポイントは変わらないということです。「企業の方は何に興味を示すのか?日本企業のどの点について知りたいのか?」を予測した下調べが、プレゼン作りでとても重要でした。相手が既知の情報を織り交ぜ、新しい情報を伝えるようにします。

難しい英語を使わなくても、わかりやすさを念頭に、はっきりと伝えようという意志を持てば、英語ネイティブにも理解してもらえると感じました。初めてのプレゼンの中で、相手が興味をもつだろうと期待していたところにズレがあったという失敗も経験しました。しかし、プレゼンを通して伝える勇気や、次の機会でのその反省を生かしたいという意欲をもつことができました。

産学連携 社長に弟子入り

経営学部では北海道中小企業家同友会との連携事業として「社長に弟子入り」に取り組んでいます。具体的には、学生が**社長に帯同し、社内外の打ち合わせ、新規事業の現場への立会い、銀行回り**などを経験します。

本年度は、「地域経営者に学ぶ」を受講した学生のうち**14名**が、(株)プリプレス・センター、(株)内池建設等**10社の社長に「弟子入り」**しました。参加学生からは「**分刻みのスケジュールの中で時間を無駄にせず、その場で考えて解決していく大切さを学んだ**」、「**変化する環境に積極的に行動し、ビジネスの波をつくりだしていくことが重要**」、「**さまざまなものに興味をもち、知ろう、学ぼう**という意識が芽生えた」といった声が聞かれました。

本企画は、北海道新聞8月16日朝刊でも取り上げられました。

北海道との連携事業 「北海道×HGU.ch」

北海道総合政策部知事室広報聴課と下村ゼミ(専門:マーケティング・広告)が連携し、道政広報番組「北海道×HGU.ch(エイチジーユー・チャンネル)」を作成・公開しています。学生の視点から、北海道の身近な情報を提供しています。

タイトルの一例

- 道職員表彰「よりみちの駅プロジェクト」に迫る!
- 北海道米の魅力とは? ● 北海道と福祉のまちづくり
- エゾシカと共存する社会
- ジンギスカンダンス WE LOVE HOKKAIDO シリーズ2014 Ver.

「北海道×HGU.ch (vol.18) 道職員表彰「よりみちの駅プロジェクト」に迫る!」

北海道 HGU.ch SEARCH

特別講演 グローバル人材育成セミナー

経営学部では、グローバル人材を育成するためのセミナーを開催しています。講師は現役学生から経営の専門家、大学教員と多種多様です。今年度実施したセミナーは以下のとおりです。

- 1 観光・ホスピタリティ産業の将来～国際観光の変化に照らして～
- 2 企業からのグローバル人材への期待
- 3 海外で学び、海外で働くという選択肢
- 4 海外経験は、人生のターニングポイント —春休みは海外に飛び立て!—

各セミナーともに熱気あふれるもので、今年度に引き続き次年度も開催予定です。このセミナーを通して、世界への扉を開ききっかけをつかってみませんか?



表紙



▲大平ゼミ/中小企業家同友会 企画立ち上げのお手伝い



▲春日ゼミ/福岡のトヨタ自動車工場見学



▲下村ゼミ/動画制作の風景

特別講義 地域の事業創造(提供:北海道経済産業局)

経営学部の**2年生を対象**に、昨年度から始まった**起業家育成、新規事業・サービス・製品の創造者育成を目的としたプログラム**。本年度は、「地域産業育成と事業創造」をテーマに、事業育成の支援者の視点、事業の経営者の視点と工夫、ワークショップの3部構成で開催しました。一連の学びの後に、各グループに分かれ、ビジネスプランを作成。その内容をプレゼンします。

講義テーマと講師一覧(敬称略)

経済産業省・北海道経済産業局の役割	経済産業省北海道経済産業局 総務企画部総務課長 塩手 能景
地域で期待されるベンチャービジネス	株式会社道銀地域総合研究所 取締役常務執行役員 浦田 祥範
イノベーションの構造と要素の結合	北海道大学産学連携本部 特任教授 荒磯 恒久
事業計画と具体化、着想の仕方。	株式会社ティーピーバック 代表取締役社長 池川 和人
事業計画を立ち上げるには	株式会社きめきさプリ 代表取締役社長 岩館 空
「信用保証協会における創業支援」～創業時のポイントについて～	北海道信用保証協会 業務部企業支援課 山田 迪
わが社のビジネスモデル、これまで、今、これから	SHIRAOS LLC 代表 古保 臣弥
経済産業省の人材政策と創業支援政策	経済産業省北海道経済産業局 地域経済部産業人材政策課長 江川 裕之
ベンチャーキャピタルの役割と事例	北海道ベンチャーキャピタル株式会社 代表取締役社長 三浦 淳一
「電気自動車の逆襲: イーロン・マスクと起業家の志」	在札幌米岡総領事館 領事 セオドア・ティール
わが社のビジネスモデルと維持する工夫1	Rimrim 代表 河野 有美
わが社のビジネスモデルと維持する工夫2	Rimrim 畑原 李香

授業風景



2014年度「地域の事業創造」賞 ビジネスプラン大賞・準大賞表彰式 2015年1月21日



左二人準大賞(川瀬結女子さん、向宏礼君)右二人大賞(六本木捺君、山田祐也君)

vol.25 PASSAGES Next Issue 2015年8月発刊予定

■ ぜみなび

今野ゼミ、近藤ゼミ、関谷ゼミ
吉川ゼミ、澤野ゼミ、小島ゼミ

■ ケイエイガクブのゲーなヤツ

2014年度卒業生に聞く大学生活の魅力

他

バックナンバー ▶ <http://ba.hgu.jp/passages/>